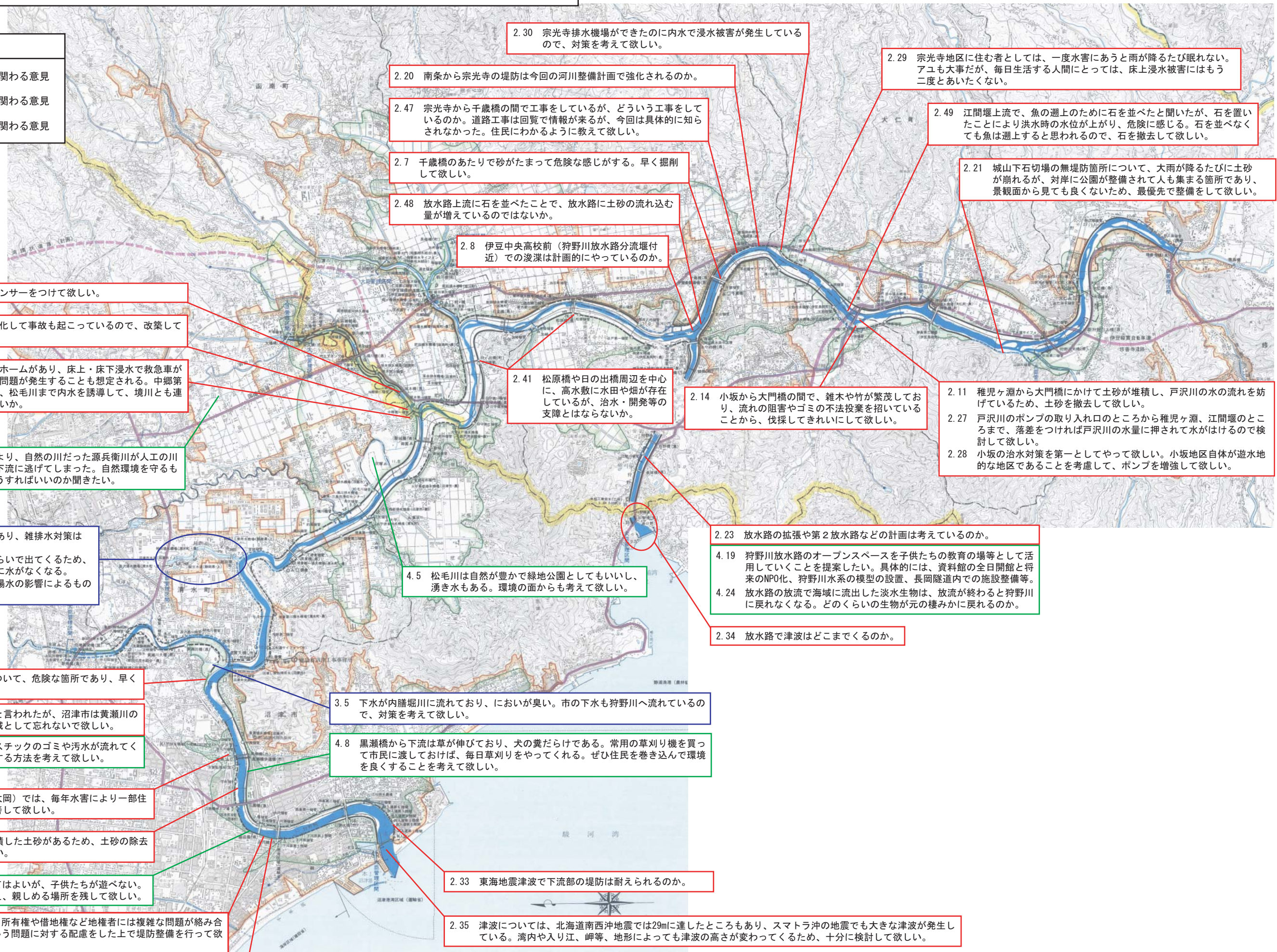


狩野川水系河川整備計画原案に対する住民意見（場所が特定されている意見）

凡例	
	治水に関わる意見
	利水に関わる意見
	環境に関わる意見



- 2.44 塚本橋に洪水を感知するセンサーをつけて欲しい。
- 2.40 大場川中郷第一橋管が老朽化して事故も起こっているの、改築して欲しい。
- 2.24 大場川の一番下流には老人ホームがあり、床上・床下浸水で救急車が入れなくなると命に関わる問題が発生することも想定される。中郷第一橋管にポンプをつけるか、松毛川まで内水を誘導して、境川とも連携してポンプで排水できないか。

4.9 源兵衛川を整備したことにより、自然の川だった源兵衛川が人工の川になり、アユやカワセミが下流に逃げてしまった。自然環境を守るものとしては残念であり、どうすればいいのか聞きたい。

- 3.4 柿田川は沼津市の生命線であり、雑排水対策はぜひやって欲しい。
- 3.7 柿田川は雨が降って80日くらいで出てくるため、乱暴な使い方をするとすぐに水がなくなる。
- 3.8 柿田川の湧水が減ったのは揚水の影響によるものなのか。

- 2.19 黄瀬川の合流点付近の堤防について、危険な箇所であり、早く整備して欲しい。
- 2.5 本川は放水路ができて大丈夫と言われたが、沼津市は黄瀬川の方が大事である。黄瀬川も流域として忘れてないで欲しい。
- 4.21 黄瀬川では増水すると、プラスチックのゴミや汚水が流れてくる。黄瀬川の上流をきれいにする方法を考えて欲しい。

- 2.31 沼津市黒瀬橋近隣（平町大岡）では、毎年水害により一部住家の浸水があるので、改善して欲しい。
- 2.9 黒瀬橋～三園橋の間に堆積した土砂があるため、土砂の除去等について検討して欲しい。

- 4.14 上土はイベント会場としてはよいが、子供たちが遊べない。子供たちが自然と触れ合え、親しめる場所を残して欲しい。
- 2.17 魚町の堤防整備について、所有権や借地権など地権者には複雑な問題が絡み合っていることから、そういう問題に対する配慮をした上で堤防整備を行って欲しい。

2.18 仲町を無堤部と表現するのは誤っており、堤防整備の必要はない。川の中にあるコンクリートブロックを撤去して船着場を整備して欲しい。

3.5 下水が内膳堀川に流れており、においが臭い。市の下水も狩野川へ流れているので、対策を考えて欲しい。

4.8 黒瀬橋から下流は草が伸びており、犬の糞だらけである。常用の草刈り機を買って市民に渡しておけば、毎日草刈りをやってくれる。ぜひ住民を巻き込んで環境を良くすることを考えて欲しい。

2.20 南条から宗光寺の堤防は今回の河川整備計画で強化されるのか。

2.47 宗光寺から千歳橋の間に工事をしているが、どういう工事をしているのか。道路工事は回覧で情報が来るが、今回は具体的に知らされなかった。住民にわかるように教えて欲しい。

2.7 千歳橋のあたりで砂がたまって危険な感じがする。早く掘削して欲しい。

2.48 放水路上流に石を並べたことで、放水路に土砂の流れ込む量が増えているのではないのか。

2.8 伊豆中央高校前（狩野川放水路分流堰付近）での浚渫は計画的にやっているのか。

2.41 松原橋や日の出橋周辺を中心に、高水敷に水田や畑が存在しているが、治水・開発等の支障とはならないか。

4.5 松毛川は自然が豊かで緑地公園としてもいいし、湧き水もある。環境の面からも考えて欲しい。

2.30 宗光寺排水機場ができたのに内水で浸水被害が発生しているので、対策を考えて欲しい。

2.29 宗光寺地区に住む者としては、一度水害にあうと雨が降ると眠れない。アユも大事だが、毎日生活する人間にとっては、床上浸水被害にはもう二度とあいたくない。

2.49 江間堰上流で、魚の遡上のために石を並べたと聞いたが、石を置いたことにより洪水時の水位が上がり、危険に感じる。石を並べなくても魚は遡上すると思われるので、石を撤去して欲しい。

2.21 城山下石切場の無堤防箇所について、大雨が降ると土砂が崩れるが、対岸に公園が整備されて人も集まる箇所であり、景観面から見ても良くないため、最優先で整備をして欲しい。

2.14 小坂から大門橋の間で、雑木や竹が繁茂しており、流れの阻害やゴミの不法投棄を招いていることから、伐採してきれいにして欲しい。

2.11 稚児ヶ淵から大門橋にかけて土砂が堆積し、戸沢川の水の流れを妨げているため、土砂を撤去して欲しい。

2.27 戸沢川のポンプの取り入れ口のところから稚児ヶ淵、江間堰のところまで、落差をつければ戸沢川の水量に押されて水がはけるので検討して欲しい。

2.28 小坂の治水対策を第一としてやって欲しい。小坂地区自体が遊水地的な地区であることを考慮して、ポンプを増強して欲しい。

2.23 放水路の拡張や第2放水路などの計画は考えているのか。

- 4.19 狩野川放水路のオープンスペースを子供たちの教育の場等として活用していくことを提案したい。具体的には、資料館の全日開館と将来のNPO化、狩野川水系の模型の設置、長岡隧道内での施設整備等。
- 4.24 放水路の放流で海域に流出した淡水生物は、放流が終わると狩野川に戻れなくなる。どのくらいの生物が元の棲みかに戻るのか。

2.34 放水路で津波はどこまでくるのか。

2.33 東海地震津波で下流部の堤防は耐えられるのか。

2.35 津波については、北海道南西沖地震では29mに達したところもあり、スマトラ沖の地震でも大きな津波が発生している。湾内や入り江、岬等、地形によっても津波の高さが変わってくるため、十分に検討して欲しい。